

## ググってコピってトラブルる

「この<sup>ちか</sup>近くに、なんかいいカフェとかないかなあ」

「ちょっと<sup>ま</sup>待って、いまググってみる」

この<sup>かいわ</sup>会話の「ググる」は、「Google<sup>しら</sup>で調べる」という<sup>いみ</sup>意味です。もちろん、昔<sup>むかし</sup>は<sup>そんざい</sup>存在しなかった<sup>どうし</sup>動詞です。このように、<sup>しゃかい</sup>社会の<sup>へんか</sup>変化に合わせて、<sup>あたら</sup>どんどん新しい<sup>にほんご</sup>日本語が<sup>う</sup>生まれています。

<sup>がいこくご</sup>外国語を<sup>にほんご</sup>日本語の<sup>おと</sup>音や<sup>もじ</sup>文字で<sup>あらわ</sup>表した<sup>ことば</sup>言葉を『<sup>がいらいご</sup>外来語』と<sup>い</sup>言います。Googleを「<sup>グーグル</sup>」と<sup>あらわ</sup>表すような<sup>ことば</sup>言葉です。この「<sup>がいらいご</sup>外来語」を<sup>つか</sup>使った<sup>どうし</sup>動詞には、<sup>つぎ</sup>次のようなものがあります。

メモる

コピる

ミスる

タクる

バズる

デイスる

パニクる

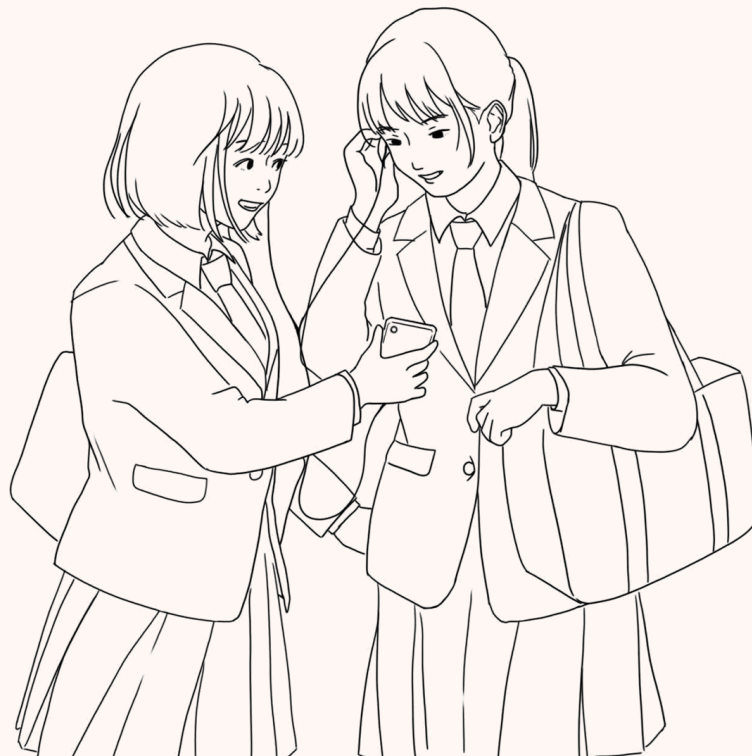
## トラブる

さて、それぞれの動詞は、どんな意味でしょうか。「メモる」は memo、「コピーる」は copy、「ミスる」は mistake、「タクる」は taxi、「バズる」は buzz、「ディスる」は disrespect、「パニックる」は panic、「トラブる」は trouble という言葉から生まれた動詞です。例えば、こんなふうに使います。

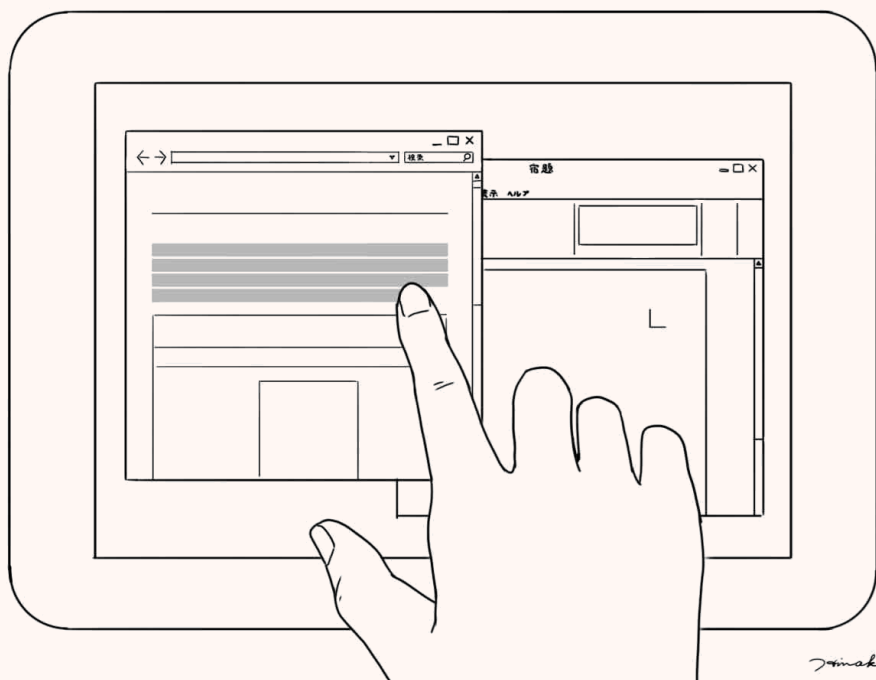
「この曲知ってる？ なんか、TikTok でバズってるらしいよ」

「へー、でもなんか、ちょっと古い感じがしない？ 昔の曲をコピッただけ、みたいなの」

「ディスるなよー。けっこういい曲じゃん」



「こないだの<sup>しゅくだい</sup>宿題、ググって<sup>み</sup>見つけた<sup>こた</sup>答えを、そのままコピったら、<sup>せんせい</sup>先生にば  
れて、めっちゃ<sup>おこ</sup>怒られた」



ある<sup>ちょうさ</sup>調査によると、最近<sup>さいきん</sup>生まれた<sup>あた</sup>新しい<sup>どうし</sup>動詞のうち、70%以上は「グ・グ・  
る」「バ・ズ・る」のように、2音に「る」をつけて、3音にしたものだそう  
です。また、20%くらいは「パニクる」「トラブる」のように、4音にしたもの  
だそうです。

このような<sup>あた</sup>新しい<sup>どうし</sup>動詞は、だいたい、話し<sup>はな</sup>言葉<sup>ことば</sup>から生まれます。スターバ  
ックス・コーヒーが日本<sup>にほん</sup>で<sup>ふ</sup>増えはじめた<sup>ころ</sup>頃に、「スタバる (Starbucks Coffee <sup>い</sup>に行く)」  
という<sup>ことば</sup>言葉<sup>ことば</sup>ができました。新型<sup>しんがた</sup>コロナウィルスの<sup>えいさう</sup>影響<sup>えいさう</sup>でオンライン<sup>かいぎ</sup>会議<sup>かいぎ</sup>が増え

はじめたころに「ズムる (zoom で会議などを<sup>かいぎ</sup>する)」という<sup>ことば</sup>言葉ができました。

新しい<sup>あた</sup>動詞は新聞やニュースなどではあまり<sup>つか</sup>使われません。でも、新しい<sup>あた</sup>動詞を使う人が<sup>し</sup>どんどん<sup>つか</sup>増えれば、その動詞は<sup>どうし</sup>将来、新聞やニュースで<sup>つか</sup>使われるようになる<sup>つか</sup>かもしれません。

言葉<sup>ことば</sup>を使う人が、言葉<sup>ことば</sup>を作<sup>つく</sup>っていきます。今日、あなたが<sup>きょう</sup>作<sup>つく</sup>った新しい<sup>あた</sup>動詞が10年後には、日本語<sup>にほんご</sup>の辞書<sup>じしょ</sup>にの<sup>つか</sup>っている<sup>つか</sup>かもしれません。

(868<sup>じ</sup>字)

(2022.4 Written by Junko SATO)

(All pictures are drawn by Hinako FUJIMURA)

#### <<sup>さんこうしりょう</sup>参考資料>

堀尾佳以 (2008) 「動詞化接尾辞『一る』について」『比較社会文化研究』23, pp.83-91, 九州<sup>きゅうしゅう</sup>大学



この作品はクリエイティブ・コモンズ<sup>きくひん</sup> 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際<sup>ひょうじ ひえいり けいしょう こくさい</sup> ライセンスの下に<sup>もと</sup>提供<sup>ていきょう</sup>されています。この作品<sup>きくひん</sup>を利用<sup>りよう</sup>する場合は、「たどくのひろば」を<sup>しゅつてん</sup>出典<sup>しめ</sup>として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.